

京都教区時報

第150号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨

編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入 Tel 761-9095

高齢化社会を考える(1)

(ホイヴェルス神父の詩より)
最上のわざ

この世の最上のわざは何か
楽しい心で年をとり 働きたいけれども休み
しやべりたいけれども黙り 失望しそうな時に希望し
従順におのれの十字架をになう

若者が元気一杯で神の道を歩むのを見てもねたます

人の為に働くよりも 謙虚に人の世話になり

弱って もはや人の為に役立たずとも 親切で柔和である」と

老いの重荷は神の賜物

古びた心に ここで最後の磨きをかける

まことのぶるさとへ行くために



おのれを この世につなぐ鎖を少しずつはがしていくのは
真にえらい仕事

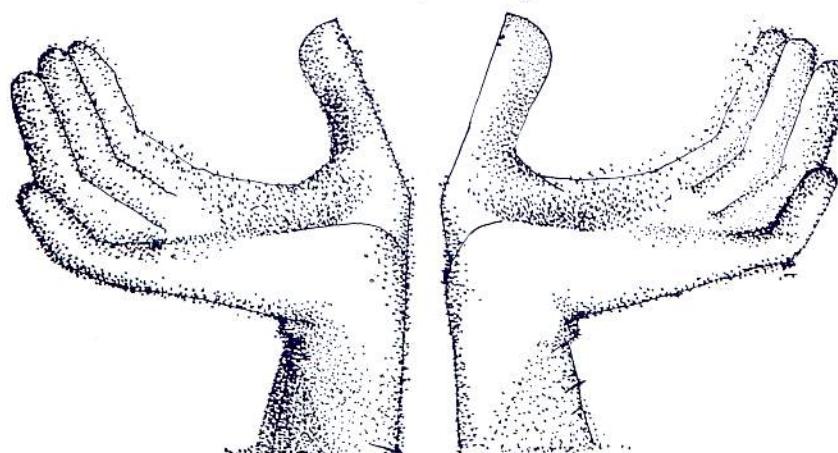
こうして何も出来なくなれば、それを謙遜に承諾する
神は 最後に一番よい仕事を残してくれださる

それは祈り

手は何もできない けれども最後まで合掌できる
愛するすべての人々に

神の恵みを求めるために

すべてをなし終えたら 臨終の床に神の声を聞くだろう
「来れ わが友よ われなんじを見すてじ」と



高齢化社会を考える(1)

—老人ホーム・在宅介護の立場から

人生わずか50年と言われた時代はついこの間に思われますが、今平均寿命は80才を数える様になりました。生命は神の恵みとすれば、長寿は神の祝福と言わねばなりません。しかしそれは人の生命、人権、生きがい等が尊重されこそ言える事でしょう。そのためには社会の温い庇護と支援と理解が必要でしょう。

今、高齢化社会を生きる私達にとって、老人の問題は避けて通る事は出来ません。次は我身と言う事より現在の問題としてまず知る事、考えてみる機会を少しでも持てればと思います。

南勢カトリック特別養護老人ホーム

園長

高橋 喜美子

高齢化社会に

私の考え方のこと

私の施設を紹介いたします。社会福祉法人聖ヨゼフ会南勢カトリック特別養護老人ホームは老人福祉法の基本的理念を尊重し、また法人の事業目的であるキリスト教的愛の精神に基づいて、昭和47年4月1日に松阪市小阿坂町に開いた

い機能役割が期待されています。

寝つきにならないよう家族そ

設されました。身体上または精神上著しい障害があるために常時介護を必要とするお年寄が90名入所しています。内37%が痴呆性老人です。年令は75才以上が77%（内101名）で職員41名がお世話しています。90名の半数は信者で朝夕の祈りロザリオの祈りを毎日するなど信仰に生きています。すべてを

神様にゆだねて感謝しているお年寄の姿は美しく、私達の学ばなければならぬことです。高齢者の多くが老後も住み慣れた地域社会のなかで、家族とともに暮したいと考えていることからみまして在宅での介護が困難な者については、老人ホームでの処遇を確保しつつ、在宅サービスを大幅に拡充していくことが必要になっています。このようない方向の中で老人ホームについては、地域の在宅サービスを担い手として老人ホームの機能を地域へ開放していくことや、新し

当ホームもこれに応え地域のニーズに合わせて次のサービス事業を行っています。

1、入浴サービス

2、ショートステイ

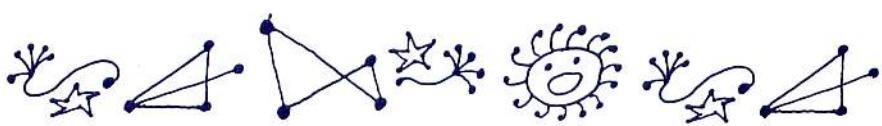
3、電話介護相談（介護110番）等

現在お年寄に必要なハビリセンター、デイ・サービス等の設置計画中、以上が概況です。

21世紀の超高齢社会にむかつて老人ケアのあり方は今後ますます大きな社会問題、家庭問題となりつつありますので家庭で苦しまないで国の施策であるサービスを利用してください。

「明日は我が身」で感じがします。誰もが避けられない道なんだと判りつつ、やはり不安になります。

私は老年の問題は中年からの問題だとつくづく思います。老年は言つてみれば人生の総決算だけに中年からの意識によってその人の老年は随分変ると思います。



聖ヨゼフ
老人ホーム

ろつてハイキングで足を鍛えるとか、惚けないように「趣味」をもつとか、若者はお年寄を尊敬し、コミニ

ケーションを図り、人生80年時代明るく健やかな生活をみんなの力とか、若者はお年寄を尊敬し、コミニ

で築こうではありませんか。



ホームの施設と機能をもつと地域の人々に役立たせたい

施設長

S・J・ニュージェント



聖ヨゼフ老人ホームは、奈良県御所市の郊外にあります。敷地が約一万坪の中に、教会、幼稚園、障害児の短期宿泊所（虹の家）、障害者共同体の人々の住む建物、奥にはカトリック墓地と、畑に囲まれ、養護老人ホームである聖ヨゼフ老人ホームが建っています。

それぞれの交流は、入所者の6割以上がカトリック信者ですので、教会の行事等は、共に協力し参加しています。幼稚園とは、運動会クリスマス会、敬老の日の慰問などあります。老人達は、元気な園児の姿を見て、孫の事、小さかつた頃の自分の事を思い、励みになつています。核家族となり、家に老人のいない子供もたくさんおりますが、老人ホームに慰間に来て、年をとつた人に対しても、年をとつた人に対しても、

ケーションを図り、人生80年時代明るく健やかな生活をみんなの力化が進み、将来の不安があります。寝起きりとなつても、神様の元に

何かを感じ取つていると思ひます。園児のお母様方の中にも、ボランティアとして協力して下さる方が出来ました。ホーム側としても、とても喜んでいます。障害児の宿泊施設に月2回、数名の子供と、ボランティアの青年達が来て、一緒にミサにあずかります。皆で一緒に祈りながら、それぞれの立場で、お互いに、他の人の痛みを感じる事が出来ると思います。地域の人々との交流は、春の親睦会やライオンズクラブ、老人クラブの皆様の慰問等があります。今後は老人ホームの施設と機能を使って、もつと地域の人々のために役に立つ事が出来たら良いのにと考えていますが、デイ・サービスは、市

の協力が得られない、実行するのにはむつかしい現状です。ボランティアの受入れ、養成も、大きな役目だと思います。

特別養護
老人ホーム寿荘

入所者も、在宅の老人も、高齢化が進み、将来の不安があります。寝起きりとなつても、神様の元に

行く日まで、お世話する事が出来る特別養護老人ホームを、奈良県にもぜひ建設したいと考え、今、奈良市の新しい住宅地に建築予定です。市、地域の人々の協力も得る事が出来ました。これから話を

その昔、織田信長の家臣細川藤孝（幽斎）が田辺城を築き、その城郭が鶴の舞つてゐる姿に似ていたところから、明治のはじめ舞鶴の名が生まれたといいます。

舞鶴の町は、東に新興都市としての東舞鶴と古都としての西舞鶴に二分されており、ちょうどこの中間にそそりたつ五老ヶ岳の頂上からこの両者が眺望され、そのはるかさきに雄大な日本海が展開しています。この山紫水明の地、西舞鶴の市街地から車で5~6分のところに聖母訪問会特別養護老人

入所者も、在宅の老人も、高齢化が進み、将来の不安があります。寝起きりとなつても、神様の元に

行く日まで、お世話する事が出来る特別養護老人ホームを、奈良県にもぜひ建設したいと考え、今、奈良市の新しい住宅地に建築予定です。市、地域の人々の協力も得る事が出来ました。これから話を

施設長補佐
長浜茂之

ホーム寿荘があります。

当ホームは、昭和43年4月1日に京都府教区カリタス会によつて設立され、51年4月1日社会福祉法人聖母訪問会に移管され現在に至つております。入所定員60名、平均年齢80歳であり痴呆性老人、失禁者、おむつの必要な老人が多く、重度、重症化しつつありそれだけに介護は大変ですが、キリストの生き方に基づき、神の子である私達の兄弟なる永遠の生命を有する人間を尊重することを基本理念として、施設長以下職員29名は、

食事、入浴、排泄の三天介護に工夫を凝らし、待遇向上に努めています。そして、豊かでうるおいのある生活の場とするため、花見、盆おどり、運動会、ピクニックなど四季折々の行事に加えてクラブ活動（習字、手芸、生花、踊り、園芸など）も盛んであります。また、日常生活の向上、残存機能を引き出し健康・体力維持のための機能回復訓練、食事に喜びと安らぎを与えるための改善・工夫をし老人の方々は、日々楽しく過ごしております。

これからは、急速な高齢化の時代を迎えますが、地域福祉、在宅福祉がますます重要視されてきま

すので貴重な社会資源である施設が入所されている人だけを対象としていたのでは、在宅の援護を必要とする老人や地域のニーズに応えることが不可能ですので、地域社会の精神の中核的存在となつて施設を開放し、そのもてるノウハウ、機能を大いに活用して地域住民と施設が一体となつてこれから高齢化に対応すべく努力していると思つております。

母親が何年間か看病してきましたが、最近病氣で亡くなりました。そのあとこの若い夫婦は自分達で看る事に決めたのです。でもどうやっていいのか、何をしていいのかわからなかつたのです。寝たきりになつた時、看る人も看られる人ももうそれだけで大変なのです。この若い夫婦は一生懸命でした。訪問の回を重ねる毎に改善され行くのです。私はいつも介護なさる方に「御苦労様です」と声をかけ、それからお年寄の話を聞き

私が「ねたきり老人の訪問看護指導」の仕事について

訪問看護指導の仕事について

桃山教会 中村笑子

在夫婦のどちらがねたきりになります。その間に訪問した家庭は、ゆうに10軒を越えます。様々な家庭を見てきました。そして高齢化社会、核家族のすすむ現

すので貴重な社会資源である施設が入所されている人だけを対象としていたのでは、在宅の援護を必要とする老人や地域のニーズに応えることが不可能ですので、地域社会の精神の中核的存在となつて施設を開放し、そのもてるノウハウ、機能を大いに活用して地域住民と施設が一体となつてこれから高齢化に対応すべく努力していると思つております。

母親が何年間か看病してきましたが、最近病氣で亡くなりました。その後この若い夫婦は自分達で看る事に決めたのです。でもどうやっていいのか、何をしていいのかわからなかつたのです。寝たきりになつた時、看る人も看られる人ももうそれだけで大変なのです。この若い夫婦は一生懸命でした。訪問の回を重ねる毎に改善され行くのです。私はいつも介護なさる方に「御苦労様です」と声をかけ、それからお年寄の話を聞き

知っておくと便利な各種サービス

デイサービス

家におられるおとしよりに施設、病院がしている1日のサービス。主に健康チェック、日常動作訓練、入浴、食事サービス。

ショートステイ

ねたきり老人、痴呆性老人及び虚弱老人をお世話されている家族の方が病氣や疲労、冠婚葬祭、看護などの所用で一時的にお世話できる場合に家族にかわって施設がお世話します。

入浴サービス

家庭において家族等の援助だけでは入浴が困難な寝たきりのおとしよりも対象に施設の入浴設備が利用できます。

掛け老人をかかる家族の会

掛け老人をかかる家族などの交流を通して老人掛けの理解を深め、掛け老人とその家族への援助と福祉の向上をはかることを目的としています。

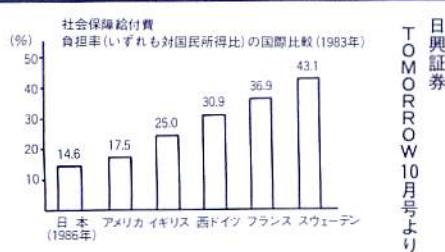
在宅看護指導

家庭でねたきり老人、痴呆性老人、虚弱老人のお世話をされている家族の方への指導。保健所より保健婦さんが派遣されます。

★上記の各サービスをしている施設、病院など、その他詳しいことは下記にお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】 京都市中央老人福祉センター
〒604 中京区壬生仙念町30
☎075(802)1221 (802)

★上記の各サービスは、日本国籍でなくとも受けられます。



日興証券
TOMORROW 10月号より

ます。このお年寄はいつも私に黙つて手を合せて頭を下げられるのです。孫夫婦には日頃何かと無理を言つていたのに亡くなる少し前には「長い間世話になつた」と御礼を言つて、それからは静かだつたそうです。「安らかな大往生でした」と家族は安心しています。私はこの仕事をつづけられるかぎり、つづけたいと思っています。友人は私は「元気だなあ」と言いますが、私は出かける前に神様とお話しをします。そして帰つてから又神様とお話しをします。これが私が元気で働く秘密です。

先月号の「写真でつづる青年のつどい」はもうご覧いただいたでしょうか? 今月は参加者の声をひろってみました。

また違う日まで……

あんてな (((((おもむき)))))

☆「とにかく逢いたい」と思つて参加し、こんなに盛り上がるとは正直言つて思つていませんでした。

こんな機会を多く作り、青年の輪を広げすばらしい仲間作りがしたいと思います。日頃の悩みが言い合える、こんなすばらしい状態はありません!!

☆みんなといつしょに「何かをやっている」「何かをやってゆく」ことに充実感を感じました。

ト者がひとつになつて樂しく、又、眞面目に話し合い、信仰を深めることができました。ここで出会つた方々と今後も

支え合つて、キリストの道を歩むことができたら」と思いました。

☆とつても素敵だった。とつてもいい雰囲気だった。とつてもおもしろかった。も嬉しかった。とつても幸

せだった。この幸せをみんなにわけてあげたいな!

☆今の青年が何を考えているのか、もつと感じているところをめぐりあげるような集まりがしたかった。楽しく遊ぶことが自己目的化していくは

つまらない。皆が具体的にどう生きているのか、共に歩めることは何か、を知り合うのが教会で集まるこの大きな意味だと思う。

(((おもむき))) あんてな

老人を敬う人は

敬老の日、子供の日、父の日、母の日、実際に様々な日があります。

頃の無礼を謝し、贈物をする、等それ自体すばらしい事なのですね。でもそんなものなくなつた方がよいと言いたくなる事がある。

敬老の日になつたら、その日だけ、贈物や催物をし「ありがとう」とか、ねぎらいの言葉をかける。しかしそれが終ると、もう忘れてしまう。社会

の片隅、教会の片隅、家庭の片隅に追いやられてしまう。

それならの方が良いと思う。

毎日が敬老の日々ならばよい。

いやな言葉ですけれど、ボケ老

ります。すると優先座席があ

ります。字架の秘義、十字架

の意を知るものにとつてもや

っぱり大変。でも一つだけ自

分に言い聞かせたいことがあります。ボケや老人特有の氣むず

かしさがあるとすれば、それ

は、むしろ勲章かもしれない。

人は体力・気力・精神力に支

えられて生きています。元気

なうちは体力があり、気力や

精神力を制御できます。でも

体力が衰えると、気力がつい

てこない。気力と精神力(或いは精神的な力)を同視する人にとって大きな失望と躊躇のものになりま

(イタリア語で「より小さな悪」
「ないよいまし」の意)かもしれません。いやこの事で何も養老院を否定するわけではないのです。それで、どれだけ本人や家庭の平和が保たれている事か、はかりしれない。にもかかわらず……

人の問題が話題になります。

本当に大変ですね。まわり

の人々にとつてやはり重い十

字架。十字架の秘義、十字架

の意を知るものにとつてもや

っぱり大変。でも一つだけ自

分に言い聞かせたいことがあります。ボケや老人特有の氣むず

かしさがあるとすれば、それ

は、むしろ勲章かもしれない。

人は体力・気力・精神力に支

えられて生きています。元気

なうちは体力があり、気力や

精神力を制御できます。でも

体力が衰えると、気力がつい

てこない。気力と精神力(或いは精神的な力)を同視する人にとって大きな失望と躊躇のものになりま

す。欠点を一杯荷ないそれを一生懸命支配できた。それが年と共に制御できなくなる……。

それにしても何んと穏やかで穎智と笑顔に輝く老人を見る事か。

御老人に尊敬と感謝と拍手を。(M.T.)

ちょっとあなたも

ちょっとわたしも (23)

電車に乘ります。バスに乗ります。する優先座席があります。する優先座席が

います。ハイキングには参加できなかつたけどよかつたみたいやし、

今度こんなチャンスがあつたらぜひ行きたい。最終日の話し合いは

高校生にとつては参考になりよかつた! ただもう少し交流したかつたな。

どの席だつて優先座席。言われなくつたつて出来るはずなのに。

◎いかがでしたか。これらの感想意見は一部分ですが、これら

活動に生かしていけたら……とに

かく、これからです!

お知らせ 教区スケジュール

11月

3日 京都ウォーカソン
6日 司祭評議会
12日 希望の家バザー

17日 SVP理事会(河原町)
18日 召命促進黙想会(唐崎)
19日 教区創立一斉記念ミサ

20日 京都南部司祭例会
23日 滋賀びわこウォーカソン
26日 年次黙想会(高野)全信者のため

▼教区青年黙相会 第28回 「みことばを味わう・聖書深読」

日時 11月18日(土)～19日(日)
場所 唐崎メリノールハウス
対象 青年男女(高3も含む)
会費 3,000円
講師 司祭、シスター、神学生
申込先

ヒューマン、ライツ、ナウ! 今、人権を —アムネスティを知るための一 チャリティーコンサート

(合唱 ピアノデュオ、バイオリニスト、ソプラノソロ 他)

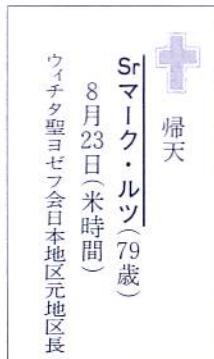
日 時 11月19日(日)PM 3時～
場 所 奈良カトリック教会
☎0742(26)2094
入場券 1,000円
連絡先 仲川久代まで
☎07442(3)0330

書道展・絵画展応募要項

'89聖書週間

- 主催……京都教区・京都カトリック教理センター
 - 趣旨……聖書を生活の中に入れしていく
 - 参加資格……子供の部—幼児から高校生まで
成人の部—一般社会人(どなたでも)
 - 出品要項…【書道】
出品点数 2点まで
大きさ 自由
出 品 表装、裏打ちなし
料 1点につき
子供の部 200円 成人の部 300円
 - 【絵画】
出品点数 1人1点(合作も可)
大きさ 4ツ切りまで
額縁なし
出 品 1点につき
子供の部 200円 成人の部 300円
- *内容は聖書のみことばから自由に選んでください。
*申込み用紙と出品料を作品にそえて出品してください。
※全員に参加賞をさしあげます。(子供の部は入選者に表彰状)
※取りにこられる方には作品をお返します。
- 出品締切…10月31日(火)厳守
 - 送り先……京都カトリック教理センター
〒606 京都市左京区仁王門通新高倉東入 ☎(075)752-0057
 - 展示会……京都カトリック会館6Fにて
11月21日(火)～12月1日(金)12時まで

高齢化社会の特集ページをつくるのに、在宅看護指導をしている方にお話しを聞かせてもらつた。現在老人を介護しているのは8割が女性。2割が70歳以上。女性が倒れたらどうなるのだろう。女性が



あなたの良き隣人として カトリック御葬儀貸物一式(仏式可) 聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下安雄
(西院教会所属)

京都市右京区西院寿町23
☎ (075)312-7829

美しの印刷

(株)からふね屋
京都市左京区東山通仁王門下ル
〒606 ☎(075)761-1166(代表)

=祈りのこもった素朴な味=
送ってよろこばれる
修道院製クッキー
ミサ用ブドー酒
(純粹マスカット)
和洋酒

タキノ

〒604
京都市中京区錦小路通烏丸東入
TEL (221)0976-7